## 市から勤務先にマイナンバーを通知 漏えいや紛失の危険が増すのでは

来年５月にマイナンバーを記入した「住民税特別徴収通知書」を市は、勤務先に普通郵便で送付しようとしています。厳重な管理が法律で義務付けられたマイナンバーを本人の了解もなく第三者に知らせることになり、公務員の守秘義務違反ではないかと質しました。

「市は事業者に対して特定個人情報の提供を行うことができると個人番号法で規定されているので、守秘義務違反にはならないと認識している」との答弁でした。

マイナンバーの通知カードは、簡易書留で配達され受取人への手渡しが原則で、不在の場合は持ち帰りでした。しかし、今回の「通知書」は普通郵便のためポストに入れるだけになり、マイナンバー、名前、住所、勤務先がセットで漏えいする危険や、誤配達、盗難のリスクも懸念されます。マイナンバーを記入しない市もあり、再考すべきです。

市議 東　よしき

## 「ジョイフルむつみ」の改修計画は 契約書に基づく対応を

市は、平成２０年に養護老人ホーム「むつみ」を建物は無償譲渡、土地は３０年間無償貸与という契約を締結して社会福祉法人サンライフへ移管しました。利用者のプライバシー保護のため二人部屋からの個室化が強く求められるようになり、サンライフから改修計画について市へ打診がありました。

計画の内容は、現施設ではなくサンライフの施設を改修し移転させるもの、現施設は空き家になってしまいます。契約では養護老人ホームとして使用しなければならないとなっており、契約に基づく対応が求められます。

市議 森　ケイ子

## 利用料見直し、減免制度を設けよ

公共施設使用料の有料化によってさまざまな問題が起きています。パークゴルフは個人利用で１ラウンド１００円となりましたが、グランドゴルフ場は、2時間あたり1面１９０円で、何人で利用しても同じです。パークゴルフも時間単位の料金設定を行い、団体利用も認めるよう質しました。「次回（５年後）見直しの機会に検討する」との答弁でしたので、早急に改めるよう再度求めました。

使用料の有料化で最も深刻なのは、福祉センターを中心に活動している障がい者やボランティア団体の皆さんです。減免制度を作るよう求めました。

市は、減免制度は設けないとの答弁でしたが、社協とも連携をとって対応すること。またアンケートなどで利用者の意見を聞くよう求めました。「アンケート等については、一年程度の時期をみて行う予定」との答弁でした。

## 学校に階段昇降機の設置を

小学校に、車いすで通学する児童が入学し、学年が進むと２・３階の教室になり、先生方の負担が大変です。また、骨折した子どもの対応にも必要であり、階段昇降機や、キャタピラ式昇降機の設置を提案しました。

また　学校内のトイレが全部洋式となっているのは、西部中と門弟山小と来年設置予定の古南小だけです。全校設置に向けて計画的に進めるよう求めました。

「階段昇降機については今後よく調査研究していく。トイレは国の交付金の状況を見ながら計画をすすめていきたい」との答弁でした。

他に、介護保険の問題点などを質しました。

## 新総合計画に公共交通充実の位置づけを

2018年度から10年間の、江南市の最上位計画・次期総合計画が策定中です。

江南市からの転居を希望する理由のトップが「公共交通が不便だから」との驚くべき結果が市民アンケートで出ています。人口減少・超高齢化の将来を見据え、公共交通の充実強化を図る重要性が改めて鮮明になってきました。

現在、公共交通網再編について調査・検討中の地域公共交通会議と総合計画の策定会議が、別々ではなくお互いに情報を共有し、連携してこの問題に取り組むことが必要です。

また、公共交通の担当を市長政策室に移して市の重要課題とし、まちづくりと一体に取り組むべきだと質しました。

市は「地域公共交通会議での協議内容を市民会議等での議論につなげ、連携して総合計画の策定を進める。組織機構は、次期総合計画のスタートに合わせ見直しを進めているところ」と答弁しました。

市議 掛布（かけの）まち子

## 危険な通学路の安全対策を

集団登下校中の小学生の列に車が突っ込む痛ましい事故が全国的に後を絶ちません。

古北小校下（中般若町、般若町）の危険な通学路

市民から度々指摘されている古北小校下の危険な通学路（写真）について、速度規制、一方通行などの規制による更なる安全対策を求めました。

市は、「ここは主要幹線道路のため一方通行規制はできないが、大型車通行止めについては、周囲の状況が変化しているので改めて江南警察と協議していく」と答弁しました。